

第5学年 算数科学習指導案

1 単元 図形の面積

2 単元について

- (1) 児童は、第4学年で「面積の概念」について学習し、「面積の単位と測定の意味」「長方や正方形の面積の求積公式」などを学習してきている。

本学年では、基本的な図形の面積について、必要な部分の長さを測り、既習の長方形や正方形の面積の求め方に帰着させ計算によって求めたり、新しい公式をつくり出し、それを用いて求めたりすることができるようにすることを主なねらいとしている。

三角形や四角形の面積を求める指導では、単に面積の公式を覚えさせたり、それに基づいて計算したりするだけが必要ではなく、既習の面積の求め方に帰着させて新しい公式を生み出す過程を通して、図形の一部を移動して既習の図形に等積変形しようとする考えや倍積変形して既習の図形を作ろうとする考え、既習の図形に分割しようとする考えなどの数学的な考え方の育成を図ることも重要なねらいである。したがって、児童の多様な考えを生かせるような指導をすることを心がけ、求積公式を導く過程においては、一人一人の考えや図形を変形したり分割したりする操作と式表示を関連づけて学習させたい。

- (2) 事前の実態調査では、(同じ広さのもの)の(いくつ分)で広さが比べられるということをおぼえている児童が多かった。また、同じ広さのものの半分であっても、形が違えば面積が異なると考える児童が大変多いということも分かった。本単元では、等積変形などの操作を通して面積を求めていくので、「形を変えても面積は変わらない」ということに留意して指導する必要がある。
- (3) 以上のような実態を考慮して、本単元では、既習事項を復習することから学習を始める。そして、形を変えたり、位置を移動したり、分割したりしてもそのものの面積は変わらないことや、二つのものを合わせると、その量は二つの量の和に等しくなるということを確認した上で、面積の学習に入りたい。

単元の前半は、TTで一斉に学習を進め、三角形の面積の公式を学習したあと小テストを行って、少人数学習(習熟度別)に切り替える。グループは自分で選択することを原則とし、迷っている児童には相談にのるようにする。

本時、発展コースでは、等積変形や倍積変形、分割の考え方をを使って、いろいろな方法で台形の面積を求める。そしてそれぞれの考え方の理解をより深めるために、求め方の共通点や相違点を話し合っって仲間分けするという活動を行う。

基礎基本コースでは、台形の面積を求める見通しを持たせる段階で、全員で台形の面積を求める考え方を話し合い、その中からどの考え方で求めたいかを選択させて学習を進める。

それぞれのコースで学習したあとは、お互いの学習内容を発表したり質問したりする全体交流の時間を設け、学習内容が共有できるように配慮する。

3 単元の目標

- (1) 面積の求め方を考えたり、新しい公式を作り出したりするときに、前に習ったことを進んで生かそうとする。(関)
- (2) 図形の求積に必要な部分の長さに着目して、計算で面積を求めようとする。(関)
- (3) 倍積変形や等積変形、および分割による操作を通して、面積の求め方を考えたり、新しい公式を作り出したりすることができる。(考)
- (4) 求積公式を用いて、面積を求めることができる。(表)
- (5) 三角形や四角形などの面積の求め方や求積公式の意味が分かる。(知)

5年 単元 7「図形の面積」(総時数 16 時間)

【単元の評価規準】

関心・意欲・態度	数学的な考え方	表現・処理	知識・理解
図形の求積に必要な部分の長さに着目して、計算で面積を求めようとする。 面積の求め方を考えたり公式を作り出したりするときに、既習を生かそうとする。	既習の求積方法をもとにして、倍積変形・等積変形などの操作を通して、面積の求め方を考えたり公式にまとめたりすることができる。	求積公式を適用して、図形の面積を求めることができる。	四角形や三角形の面積の求め方や求積公式の意味が分かる。

【単元計画・評価の観点・評価方法】

時間	学習内容	学習形態	関	考	表	知	評価の観点	評価の方法
1	(め)図形の面積について考えよう 面積の復習をし、量の保存性や加法性を確認する。 ・色板を使って形の変形 ・長方形からいろいろな形をつくる	一斉 (TT)					【表】長方形を分解して、いろいろな図形を組み立てることができる。 B：長方形を一本の直線で切断し、回転させたり裏返したりしながら三角形・平行四辺形・台形をそれぞれ1つ以上作ることができる。 A：長方形を一本の直線で切断し、回転させたり裏返したりしながら三角形を2つ・平行四辺形を3つのうち2つ・台形を1つ作ることができる。	ワークシート 足あとカード 発言 行動観察
2	(め)面積の調べ方を考えよう 等積変形や倍積変形の考え方をを使って面積を求める。	一斉 (TT)					【考】いろいろな等積変形や倍積変形のしかたを考えることができる。 B：等積変形や倍積変形の考え方をを使って面積を求めることができる。 A：できるだけ簡単に長方形に変形する方法を考え、長方形の公式を活用して面積を求めることができる。	ワークシート 足あとカード 発言 行動観察
3	(め)面積の世界を探検する計画を立てよう 見通しを持ち、これからの学習計画を立てる。	一斉 (TT)					【関】見通しをもって、面積の学習計画を立てようとする。 B：面積の探検に興味をもって計画を立てようとする。 A：見通しをもって、進んで学習計画を立てようとする。	発言

4	<p>(め)平行四辺形の面積の求め方を考えよう</p> <p>平行四辺形のどこの長さが分かれば面積が求められるかを考え、面積の公式にまとめる。</p>	一斉 (TT)				<p>【表】長方形に変形させて面積を求めることができる。</p> <p>B：長方形に変形する方法を見つけ面積を求めることができる。</p> <p>A：長方形に変形する方法を2つ以上見つけて面積を求めることができる。</p> <p>【考】平行四辺形のどこの長さが分かれば面積が求められるかを考え、平行四辺形の求積公式にまとめることができる。</p> <p>B：必要な部分の長さを見つけ、公式にまとめられることがわかる。</p> <p>A：いろいろな方法の共通点を考え、長方形の求積公式と関連させて、平行四辺形の公式にまとめることができる。</p>	<p>発表シート</p> <p>足あとカード</p> <p>発言</p> <p>行動観察</p>
5	<p>(め)いろいろな平行四辺形の底辺と高さについて調べよう</p> <p>一つの辺を底辺と決めるとき、その辺と向かい合う辺との幅を高さということ、高さはいつも底辺と垂直であることを理解する。</p> <p>(高さが外にある形も含む)</p>	一斉 (TT)				<p>【知】平行四辺形の底辺と高さの意味と関係の理解を深める。</p> <p>B：いろいろな平行四辺形の底辺と高さが分かり、その関係が理解できる。</p> <p>A：1つだけでなく他の部分でも底辺と高さを見つけることができる。</p> <p>【考】底辺に垂直に引いた直線(高さ)が、底辺の延長線上で交わる平行四辺形の面積の求め方を考えることができる。</p> <p>B：底辺に垂直に引いた直線(高さ)が、底辺の延長線上で交わる平行四辺形も一般の平行四辺形と同じ求積公式を用いて面積を求められることがわかる。</p> <p>A：どのような平行四辺形でも求積公式が適用できることを説明できる。</p>	<p>ワークシート</p> <p>足あとカード</p> <p>発言</p> <p>行動観察</p>
6	<p>(め)いろいろな平行四辺形の面積を求めよう</p> <p>形がちがっても、底辺と高さが等しい平行四辺形は面積も等しいことを理解する。</p> <p>練習問題を通して、平行四辺形の面積の求め方の理解を深める。</p>	一斉 (TT)				<p>【知】形がちがっても、底辺と高さが等しい平行四辺形は面積も等しいことを理解することができる。</p> <p>B：形がちがっても、底辺と高さが等しい平行四辺形は面積も等しいことを理解することができる。</p> <p>A：自分でも同じ面積の平行四辺形を描くことができる。</p> <p>【表】いろいろな平行四辺形の面積を求めることができる。</p> <p>B：練習問題の 3/5 ができる。</p> <p>A：練習問題の 4/5 ができる。</p>	<p>ワークシート</p> <p>(練習問題を含む)</p> <p>足あとカード</p>

7	(め)三角形の面積の求め方を考えよう 三角形の面積を等積変形や倍積変形の考え方をを使って既習の図形に変形し、面積を求める。	TT (一斉)				【考】既習の長方形や平行四辺形に等積、倍積変形して、三角形の面積の求め方を考えることができる。 B：等積変形や倍積変形のいずれかの考え方で、三角形の面積を求めることができる。 A：等積変形や倍積変形の2つの考え方をを使って三角形の面積を求めることができる。	三角形の面積 探検計画 発表シート 足あとカード 発言 行動観察
8	(め)三角形の面積の求め方を考え方によって仲間分けしよう 三角形の面積の求め方を考え方によって4つに分類する。	一斉 (TT)				【考】三角形の面積の求め方を考え方によって仲間分けすることができる。 B：それぞれの求め方がどの考え方を使っているかがわかる。 A：求め方の共通点や相違点を見つけて分類し、その説明ができる。 ・等積変形で長方形に ・倍積変形で長方形に ・等積変形で平行四辺形に ・倍積変形で平行四辺形に	ワークシート 足あとカード 発言 行動観察
9	(め)三角形の面積の公式を考えよう どこの長さが分かれば面積が求められるかを考え、面積の公式にまとめる。	一斉 (TT)				【考】三角形のどこの長さが分かれば面積が求められるかを考え、三角形の求積公式にまとめることができる。 B：必要な部分の長さを見つけ、公式にまとめられることがわかる。 A：いろいろな方法の共通点を考え、長方形や平行四辺形の求積公式と関連させて、三角形の求積公式にまとめることができる。	ワークシート 足あとカード 発言 行動観察
	(め)これまでの学習を振り返ってコースを決めよう 自分の理解度を知るための小テストをする。	ドリルの 時間				【知】平行四辺形と三角形の面積の公式が理解できている。 【知】平行四辺形の底辺と高さの関係が理解できている。 【表】公式を利用して平行四辺形と三角形の面積が求められる。 【表】平行四辺形(*三角形)の底辺と高さを表記できる。	小テスト コース選択カード
10	(め)いろいろな三角形の底辺と高さの関係を調べよう 三角形のどの辺も底辺と考えることができること、そして、それに対応して高	少人数 (習熟度)				【知】三角形の底辺と高さの意味と関係の理解を深める。 B：三角形の底辺と高さの意味が分かり、1つの三角形には3組あることが理解できる。 A：鈍角三角形でも3組の底辺と高さを見つけることができる。 【考】頂点から底辺に垂直に引いた直線(高さ)が、底辺の延長線上で交わ	ワークシート 足あとカード 発言 行動観察

	さが決まることを理解する。(鈍角三角形も含む)					る三角形の面積の求め方を考えることができる。 B：頂点から底辺に垂直に引いた直線(高さ)が、底辺の延長線上で交わる三角形も一般の三角形と同じ求積公式を用いて面積を求められることがわかる。 A：どのような三角形でも求積公式が適用できることを説明できる。	
11	(め)いろいろな三角形の面積を求めよう 形がちがっても、底辺も高さも等しい三角形は、面積も等しいことを理解する。(鈍角三角形も含む) 練習問題を通して、三角形の面積の求め方の理解を深める。	少人数 (習熟度)				【知】形がちがっても、底辺と高さが等しい三角形は面積も等しいことを理解することができる。 B：形がちがっても、底辺と高さが等しい三角形は面積も等しいことを理解することができる。 A：自分でも同じ面積の三角形を描くことができる。 【表】いろいろな三角形の面積を求めることができる。 B：練習問題の 3/5 ができる。 A：練習問題の 4/5 ができる。	ワークシート 足あとカード 発言 行動観察
12 (本時)	(め)台形の面積の求め方を考えよう...(本時) 既習を生かし、いろいろな考え方を使って台形の面積を求める。	少人数 (習熟度)				【考】既習の長方形や平行四辺形、三角形に等積変形、倍積変形、分割する考え方を使って、台形の面積の求め方を考えることができる。 B：等積変形、倍積変形、分割のいずれかの考え方で、台形の面積を求めることができる。 A：3つの考え方の内2つ以上の考え方を使って台形の面積を求めることができる。	台形の面積探 検計画 発表シート 足あとカード 発言 行動観察
13	<発展コース> (め)台形のどこの長さが分かれば面積が求められるか考えよう 台形のどこの長さが分かれば面積が求められるか	少人数 (習熟度)					ワークシート 発表シート 足あとカード 発言 行動観察

	<p>考えることを通して公式にまとめる。</p> <p><基礎基本コース></p> <p>(め)台形の面積の求め方を考えよう</p> <p>既習を生かし,いろいろな考え方をを使って台形の面積を求める。</p>							
	(め)おたがいのコースで学習したことを発表しよう	ドリルの時間						発言 行動観察
14	(め)四角形や五角形の面積の求め方を考えよう	少人数 (習熟度)				<p>【考】四角形やひし形,五角形のどこの長さが分かれば面積が求められるかを考え,面積を求めることができる。</p> <p>B: 必要な部分の長さを見つけ,面積を求めることができる。</p> <p>A: 四角形や五角形などの求積方法の共通点から多角形は三角形に分割して求めればよいことに気付いたり,長方形や三角形の求積公式と関連させて,ひし形の求積公式に気付いたりする。</p>	ワークシート 足あとカード 発言 行動観察	
	(め)おたがいのコースで学習したことを発表しよう	ドリルの時間						発言 行動観察
15	(め)平行四辺形や三角形の辺の長さや面積との関係を調べよう。	少人数 (習熟度)				<p>【表】高さが一定のとき,底辺が2倍・3倍になると,面積も2倍・3倍になること,また,底辺一定のとき,高さが2倍・3倍になると,面積も2倍・3倍になることを表に書いて見つけることができる。</p> <p>B: 数量の変化を表に書き,関係を理解することができる。</p> <p>A: 数量の変化を表に書き,関係を見つめることができる。</p>	ワークシート 足あとカード 発言 行動観察	

	面積も2倍・3倍になることを見つける。							
16	(め)学習のまとめをしよう 練習問題をしたり、ワークシートにまとめたりする。	一斉 (TT)					【表】いろいろな図形の面積を求めることができる。 B：練習問題の3/5ができる。 A：練習問題の4/5ができる。	ワークシート (練習問題を含む) 足あとカード 発言 行動観察

5 本時の学習指導（基礎基本コース）

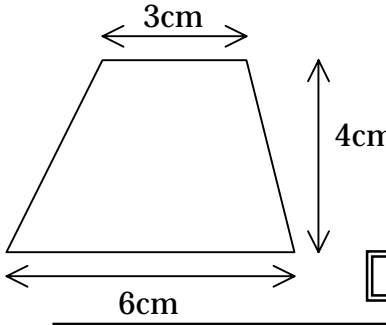
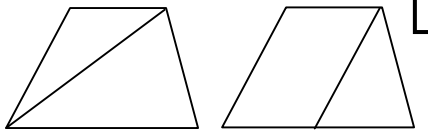
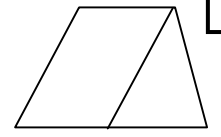
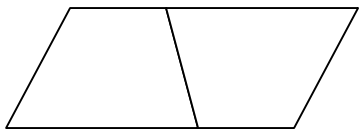
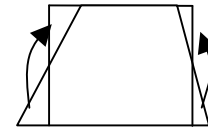
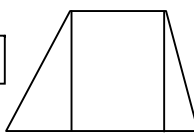
(1) 目標 分割したり，倍積変形したり，等積変形したりする考え方をもとに，見通しをもって台形の面積を求めることができる。

(2) 集団思考によって数学的な考え方を高めるための授業仮説

台形の面積を求めるために，これまでに学習した既習の考え方の中からどの考え方を使えば，分かりやすく簡単に面積を求めることができるかを話し合い，面積を求める方法の見通しをもつ活動を通して，三角形に分割する考え方や倍積変形の考え方の理解が深まり，数学的な考え方を高めることができるだろう。

(3) 学習指導過程

（は集団思考によって数学的な考え方を高めるための支援）

主な学習活動	予想される児童の反応	支援と留意点
<p>1 本時の学習課題を確認する。</p> <p style="text-align: center;">パワーアップコース</p> <p>2 面積の求め方を考える。</p> <p>(1) 見通しをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> 面積を変えずに形を習った形に変形して考える。 いくつかの図形に分割して考える。 同じ形を2つあわせて習った形に変形して考える。 <p>(2) 面積を求める。</p> <p>3 台形の面積の求め方をまとめる。</p> <p>4 練習問題をする。</p>	<p style="text-align: center;">予想される児童の反応</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>・今日は台形の面積を探検して，台形の面積を求めるひみつを見つけるんだ。</p> <p>・ぼくは，この間の三角形の勉強でやり方を見つけているよ。それを確かめてみよう。</p> </div> <p style="text-align: center;">台形の面積を求めよう。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>これまで学習したことを振り返って使えそうな考え方がないか探してみよう。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ぼくたちは，長方形，正方形，平行四辺形，三角形の面積は計算で求められるよ。 平行四辺形では，形を変えて長方形にして考えたね。 三角形でも，形を変えて長方形にして考えたね。 三角形では，同じ三角形を2つ使って平行四辺形にしてその半分が三角形の面積だと考える方法もあったね。 <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> <p>・面積を変えずに形を習った形に変形して考える。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> <p>・三角形や長方形，平行四辺形に分けて考えよう。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> <p>・同じ台形を2つ合わせて平行四辺形にして，その半分と考えよう。</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;">  <p>$(6 + 3) \times (4 \div 2)$</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>$6 \times 4 \div 2 + 3 \times 4 \div 2$</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>$3 \times 4 + 3 \times 4 \div 2$</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>$(6 + 3) \times 4 \div 2$</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;">  <p>$(6 + 3) \div 2 \times 4$</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>$2 \times 4 \div 2 + 3 \times 4 + 1 \times 4 \div 2$</p> </div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>・台形の面積は，いくつかの図形に分けたり，切って動かしたり，同じ形を2つ組み合わせたりして，習った図形に形を変えて求めることができる。</p> </div> <p style="text-align: center;">必要な長さを自分で測って台形の面積を求めよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> 台形の平行な2つの辺の長さとその辺の間の垂直の長さを測ってやってみよう。 補助線を引いていくつかの図形に分けてやってみよう。 	<p style="text-align: center;">支援と留意点</p> <p>探検計画を見て，本時は台形の面積を求めることを確認し，意欲化を図る。</p> <p>これまでの学習で，台形の面積の求め方を見通しがもっている児童がいれば最初に発言させ，</p> <p>求め方を見通しがもてるように，これまで学習してきた資料を提示したり，考え方をまとめた表を見せたりしながら，話し合わせる。また，解決の見通しがもてない場合には，方眼シートを台形にあてて考えさせたり，切り抜いた台形を操作させたりして考えさせる。</p> <p>自分のできそうな考え方を選択して学習を進めさせる。</p> <p>台形の求積作業は方眼の発表シートを使い，どの考え方で求めたか他の児童にも分かるようにする。</p> <p>1つの考え方でできた児童は，他の考え方に挑戦させる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>評【考】既習の長方形や平行四辺形，三角形に等積変形，倍積変形，分割する考え方を使って，台形の面積の求め方を考えることができる。(台形の面積探検計画・発表シート)</p> <p>B：等積変形，倍積変形，分割のいずれかの考え方で台形の面積を求めることができる。</p> <p>A：3つの考え方内，2つ以上の考え方を使って台形の面積を求めることができる。</p> </div> <p>台形の求積方法をまとめるとき，最初に自分のことばで書かせ，発表したあとみんなでまとめるようにする。</p> <p>練習問題は，方眼を使わないで，自分で必要な長さを測って計算させる。どの部分を測ればよいか迷っている場合は，もう一度方眼シートを振り返り，使った部分を確認させる。</p>

5 本時の学習指導（発展コース）

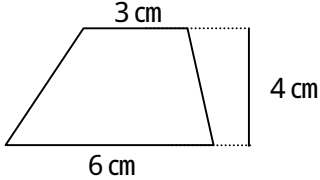

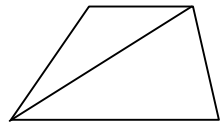
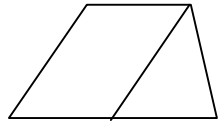
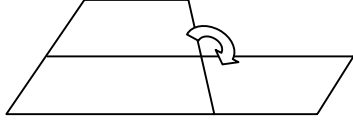
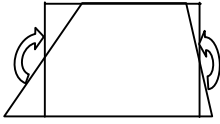
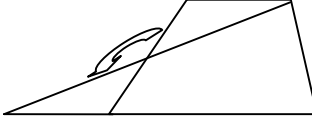
(1) 目標 台形の面積を求めるために、等積変形や倍積変形、分割の考え方が使える。

(2) 集団思考によって数学的な考え方を高めるための授業仮説

等積変形や倍積変形、分割の考え方の理解を深めるために、それぞれの求め方の共通点や相違点を話し合わせる。等積変形か、倍積変形か、分割か、平行四辺形に変形したか、長方形に変形したか、三角形に変形したかに目をつけて話し合い仲間分けをすることを通して、それぞれの考え方の理解が深まり、数学的な考え方を高めることができるだろう。

(3) 学習指導過程

(は集団思考によって数学的な考え方を高めるための支援)

主な学習活動	予想される児童の反応	支援と留意点
<p>1 本時の学習課題を確認する。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">チャレンジコース</p> <p>2 面積の求め方を考える。</p> <p>(1) 見通しをもつ。</p> <p>(2) 面積を求める。</p> <p>3 面積の求め方について話し合う。</p> <p>4 台形の面積の求め方をまとめる。</p>	<div style="text-align: center;">  </div> <p style="text-align: center;">予想される児童の反応</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>今日は台形の面積の探検をするんだっとな。</p> </div> <div style="border: 2px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px; text-align: center;"> <p>台形の面積の求め方を考えよう。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>どうすれば台形の面積が求められるかなあ。 二つの三角形に分けたらできそうだよ。 同じ形をもってきて面積を2倍にすると習った形に変えられそうだよ。 切って動かして面積を変えない方法でも習った形に変えられそうだよ。</p> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p><倍積変形></p>  <p>$(6 + 3) \times 4 \div 2$</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p><分割></p>  <p>$3 \times 4 \div 2 + 6 \times 4 \div 2$</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p><分割></p>  <p>$3 \times 4 + 3 \times 4 \div 2$</p> </div> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 10px;"> <p><等積変形></p>  <p>$(6 + 3) \times (4 \div 2)$</p>  <p>$(6 + 3) \div 2 \times 4$</p>  <p>$(3 + 6) \times 4 \div 2$</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>は、同じ形をもってきて面積を2倍にして習った形に変えているけど、あとの面積を変えないで習った形に変えている。 とは、習った形に分けて考えているけど、は切って動かして面積は変えない方法で考えている。 は三角形2つに分けて、は平行四辺形と三角形に分けている。 とは、平行四辺形に変えて、とは三角形に変えて、は長方形に変えて考えている。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>台形の面積も切って動かしたり、同じ形をもってきたり、いくつかに分けたりして公式が使える形に変形したら面積が求められるんだね。</p> </div>	<p>探検計画を見て、本時は台形の面積を求めることを確認し、意欲化を図る。</p> <p>求め方の見通しをもてるように、これまで学習してきた資料を掲示しておく。見通しをもてない場合は、資料を見ながら学習を振り返り、これまで学習した考え方が使えないかと助言する。</p> <p>各自の見通しに応じて使えるように、方眼のない台形をかいたもの2種類（等積変形用・倍積変形用）と方眼に台形をかいたものを2種類と切り抜いた台形を用意しておく。</p> <p>見通しのもてない児童には、切り抜いた台形を渡し、2つ合わせて習った形にできないかなと助言する。</p> <p>1つの方法でできた児童には、いろいろな方法でやってみよう助言する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>評 【考】既習の長方形や平行四辺形、または三角形に等積変形、倍積変形、分割する考え方をを使って、台形の面積の求め方を考えることができる。（台形の面積探検計画・発表シート） B：等積変形、倍積変形、分割のいずれかの考え方で、台形の面積を求めることができる。 A：3つの考え方の内2つ以上の考え方をを使って台形の面積を求めることができる。</p> </div> <p>図形を変形したり分割したりする操作と式表示を結びつけて発表させる。</p> <p>の考えが出ない場合は教師が意図的に提示し、考え方を説明させる。</p> <p>それぞれの考え方の理解を深めるために、求め方で似ているところや違う所を話し合わせ、仲間分けをさせる。（等積変形、倍積変形、分割のどの考え方を使ったものか、平行四辺形に変形する、長方形に変形する、三角形に変形するのどれかを考えて仲間分けをさせる。）</p> <p>見通しを振り返り、台形も平行四辺形や三角形のように、公式が使える図形に変形すれば面積が求められたことを確認する。</p>

